

# 実況アナウンサーという仕事

目で見たことをわかりやすい言葉に変えて、私たちに伝えてくれる実況アナウンサー。具体的にとどのような仕事なのでしょうか。

港区泰明町の名古屋競馬を訪ね、畑野謙二さんに聞きました。

## 師匠によって導かれた 実況アナウンサーへの道

名古屋競馬で実況アナウンサーを務める畑野謙二さん。この道30年のベテランです。仕事を始めるきっかけを掴んだのは、20代のことでした。

「もともと神戸の化学メーカーで働いていたのですが、23歳のときに退社して、アルバイト生活を送っていました。そのときの先輩を通じて、ラジオたんぱ（現在のラジオNIKKEI）のアナウンサー北野守さんと知り合うことができましたんです。北野守さんは、今でも師と慕う人物。畑野さんは、やがて阪神競馬場や京都競馬場で馬場入場のアナウンスなどを任せられるようになりたいです。」「もっと上手になりたい」と、大阪のアナウンサー養成所に通い始め、約3年間、発声の

基礎からアナウンス技術をしかりと身につけました。

30歳のとき、広告代理店の実況アナウンサー採用試験に合格。姫路競馬場で念願のデビューを果たします。その後、間もなくして名古屋に転勤。名古屋競馬や笠松競馬でレース実況を担当するかわら、三重テレビの競馬中継で中央競馬（JRA）にも携わるなど、実況アナウンサーとして幅広く活動しました。現在は、愛知県競馬組合に所属し、名古屋競馬の実況アナウンス以外に、場内セレモニーの司会や広報の仕事をしています。

## 競馬の実況アナウンスは 正確性と表現力が大切

実況アナウンスの仕事は、第一に正確性が求められます。

「とくに競馬は金銭がかかっていますから、絶対に間違いがありません。畑野さんは、レースごとに馬名と騎手名を書き入れた出走表を作成。地方競馬は騎手一人ひとりの勝負服があらかじめ決まっているため、帽子の色と騎手服の柄も合わせて記載。間違いのない正

確な実況を届けてきました。第二に求められるのが、豊かな表現力。各レースさまざまな展開があり、どのような結果が待っているかは最後までわかりません。」「馬と騎手が力を出し切って、一生懸命に戦っています。そうした一つひとつの動きを細かく捉え、わかりやすく正確な言葉で表現す

るのが実況の役目です」  
そのためには、何よりも自然体で挑むことが大切。余分な力を入れずに、見たままを言葉にすることで、落馬など突然のアクシデントにも冷静に対処します。レースの激しさや盛り上がりを実況に伝えることができるのです。

畑野さんはベテランとなった現在も、発声練習を欠かしません。目標としているのは北野守さんと、競馬実況アナウンサーの世界最長記録保持者としてギネスにも認定されている吉田勝彦さん。「録音した実況テープを何度も聞き返しては、先輩方の言葉の使い方やリズムなどを耳でおぼえました」

畑野さんの実況の魅力は、耳に心地よい声と正確な描写力。その影には、日々の地道な努力があることも忘れてはいけません。

## さまざまな出会いが 今の自分をつくっている

「まさか自分が実況の仕事をするようになるとは、思ってもいませんでした」と振り返ります。畑野さんの声が実況向きだと最初に気づいたのは、知り合った当時の北野守さんでした。「自分の知らない部分を引き出してくれた北野さんをはじめ、今の自分があるのは、さまざまな諸先輩方のおかげ」と、



愛知県競馬組合 畑野謙二さん  
8年前から名古屋競馬の職員として活動しています



フリマARで  
この写真をスキャン！  
畑野さんの実況が流れます



モニターを見たり双眼鏡を使ったり、さまざまな手段でレースの行方を実況します。  
レースの流れに身を任せることが大切

「地方競馬は馬との距離が近く、迫力あるレースを楽しめるのが一番の魅力。ぜひ一度足を運んで、目の前で展開される馬と騎手が織りなすドラマを体感していただけとうれしいです」  
まだ一度も競馬を楽しんだことのない人には、グループで広報課に申し込むのがおすすめ。競馬のいろはや馬券の買い方などもレクチャーしてもらえるので安心

偶然が導いてくれた出会いに感謝の言葉を口にします。  
今後の目標は、名古屋競馬をもっと盛り上げていくこと。毎年秋の港区区民まつりでは、クイズ形式で模擬競馬レースを行うブースを出店し、広報活動にも力を入れています。



実況席の机にはさまざまな資料が用意されています。競馬の主役はあくまでも馬と騎手。レースが白熱すると、おのずと実況にも力が入るとか

Information

愛知県知事杯 第48回東海ダービー (SPI)  
日時:6月5日(火)  
場所:名古屋競馬場(港区泰明町1-1)  
問い合わせ:052-661-9795(広報課)  
公式サイト:<https://www.nagoyakeiba.com/>

6月5日には、第48回東海ダービーが控えています。当日は畑野さんがどのような実況を聞かせてくれるのか。競馬場を訪れ、生の迫力と実況を楽しんでみてはいかがでしょうか。



畑野さんがレースごとに自作している出走表